令和８年度 神奈川県立大磯高等学校 第２回学校運営協議会 議事録
日時 令和８年11月５日（木）16:00～17:15
開催場所 本校会議室
出席者
篠田 聡 大磯高等学校 校長
八木 英一郎 東海大学経営学部経営学科教授
立花 ますみ 神奈川工科大学学生課研究主幹
辻丸 聖順 大磯町立大磯中学校 校長
宮代 雅之 大磯町政策総務部政策課長
常盤 健嗣 株式会社トキワヤ専務
小嶋 勝己 大磯町東町地区 区長
桑野 亜貴 大磯高等学校ＰＴＡ 会長
富永 潔 株式会社タウンニュース
欠席者
村上 実樹 株式会社ＳＣＮアナウンサー

事務局
副校長、教頭、事務長、教務Ｇ（榎本）、進路指導Ｇ（小犬丸）、研究開発Ｇ（奥川）、生活支援Ｇ（長屋）、 生徒会Ｇ（菊川）、総務広報Ｇ（芳賀）、総務管理Ｇ（横沼）、書記（及川） 出席 20 名

１．校長挨拶
２．協議
〇各グループより
・教務Ｇ
教育実習の受け入れを行った。令和９年度の「教職について学ぶ科目」設置に向けた準備をしている。卒業生等による授業なども検討している。
・進路指導Ｇ
大学別説明会や大学訪問、学問分野別説明会などを実施し、生徒の進路意識の向上を図っている。また、総合型選抜や学校推薦型選抜に向けて、志望理由書等の書類作成、面接、小論文の指導を行い、生徒一人ひとりの進路実現に向けた支援を進めている。
・研究開発Ｇ
授業改善やグローバル教育、探究学習の充実に向けた取組を行った。オーストラリア研修を継続して実施している。説明会等を通じて、研修の目的や内容を伝えた。
・生活支援Ｇ
教育相談を中心に、生徒の状況に応じた支援を行っている。必要に応じてスクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）やスクールカウンセラー（ＳＣ）とも連携し、生徒や家庭への支援を進めている。交通事故については、昨年度と比較して今年度は報告件数が増加している。特に自転車の自損事故が１年生に多い傾向がある。交通安全への意識を高めるため、スタントマンによる事故の再現を取り入れたスケアードストレイトの交通安全教室を実施する。今後もＰＴＡや地域と連携しながら、安全意識の向上に努めていく。
・生徒会Ｇ
体育祭、文化祭などの学校行事を実施した。地域との連携活動や、大学等と連携した活動も実施している。部活動では、陸上競技部のやり投げにおいて、関東大会で５位入賞を果たした。サッカー部や野球部も強豪相手に健闘した。

・総務管理G
年間を通じて、さまざまな防災訓練や防災教育を実施している。ノジマ大磯スクウェアでの宿泊防災訓練では、多くの生徒が参加し、避難行動や防災について学ぶ機会となった。校外避難訓練では、クラスごとに避難に要する時間を確認した。事後アンケートでは、多くの生徒が一人でも避難できそうだと回答しており、防災意識の向上がうかがえた。今後も、１、２年生を対象とした訓練や、地域の防災訓練への参加を予定している。
・総務広報G
学校説明会では、生徒が司会や学校紹介動画への出演などを担当し、吹奏楽部による発表も行い、生徒が学校の魅力を伝えている。また、今年度から開始した部活動体験会にも多くの参加者があり、中学生に本校の部活動を知ってもらう機会となった。今後も学校説明会等を通じて、本校の教育活動や学校生活の魅力を発信していく。
・その他
職員会議後に毎回不祥事防止会議を設けている。引き続き不祥事防止に努めていく。

○質疑応答
・オーストラリア研修について
研修の参加人数や費用について質問と意見があった。
・自転車事故と交通安全について
自転車事故の増加について、事故が発生しやすい道路環境や、生徒自身が自分の身を守る意識を持つことの重要性について意見が交わされた。
・不登校・登校困難な生徒への支援について
家庭との連絡や教育相談を通じて生徒の状況を把握し、必要に応じて関係機関とも連携しながら、生徒が進級・卒業できるよう支援している。
・生徒の進路選択について
早い段階から進路について考える機会を設け、学部・学科の具体的な選択については、生徒によって時期に差があるため、個々の状況に応じて指導を行っている。
・津波避難訓練について
津波を想定した避難訓練について、津波の到達時間や避難経路、地域の避難場所について意見交換が行われた。
・垂直避難および避難施設について
災害時に校舎内へ避難することの安全性や、近隣施設への避難の可能性について意見が交わされた。
・学校説明会・部活動体験会について
生徒が主体となって学校の魅力を伝える取組や、部活動体験を通じて中学生に学校生活を知ってもらう機会を設けている。
・教職について学ぶ機会について
生徒が教職について学ぶ機会を設けることについて意見があった。卒業生や大学等との連携を含め、次年度以降の取組として検討していく。

３．情報交換
○創立100周年記念事業について
記念事業を学校全体で盛り上げるためには、生徒が主体的に関わることが重要であり、早い段階から生徒が企画や準備に参加できる体制を整える必要があるとの意見があった。
そのほか、地域連携に関する写真が神奈川県広告コンクールで優秀賞を受賞したことについて報告があった。